

(仮称) 笑うまちには福来る委員会 運営方針

副理事長予定者 林 慎一郎

委員長予定者 須寄 由紀

副委員長予定者 葛岡 敦

■委員会テーマ

笑いを忘れずに楽しむ姿勢で困難に立ち向かい、調布青年会議所、ひいては調布に福を呼び込む

■委員長所信

「下天の内をくれぶれば、夢幻の如くなり」と謡われた 50 年は、人の世においては決して短くない歴史の積み重ねであり、この事は、人生 100 年時代という言葉が巷間に聞かれるようになった今日においても何ら変わりありません。

今年、調布青年会議所は創立 50 周年を迎えます。当委員会が担当する 50 周年記念事業は、現役メンバーとして、これまでの先人の歩みに感謝と敬意を表するとともに、時代の変化や新たな価値観、社会問題に向き合い、これから先の未来が明るく豊かな社会であるよう努力を続ける、そのような想いを新たにすきっかけとなる事業と考えます。

また、本年は第 49 回東京ブロック大会が調布で開催され、その実行委員会の運営も当委員会の担当となります。

東京ブロック大会、50 周年記念事業と、ともに大きな事業であり、これらに前面に立って関与することとなる当委員会のメンバーは、困難に相對する場面が少なからずあると考えます。しかしながら、そのような困難な場面にこそ、逆に笑顔で楽しむという姿勢を大切に、委員会のメンバーがみんなで声を掛け合い、助け合って事業に取り組んでいくことが、今の調布青年会議所全体、さらには未来の調布青年会議所や調布全体の活性化に繋がっていくのではないかと考え、委員会のテーマを設定しました。

東京ブロック大会、50 周年記念事業では沢山の他団体とのつながりも生まれると考えます。このようなご縁を大切に、なお一層発展させていくこともまた、調布青年会議所や調布全体の活性化に繋がる重要な要素と考えます。当委員会は、以上の観点を大切に、調布商工会青年部との青年経済人会議の実施及び例会の開催をもう一つの事業として担当します。

■担当事業など（予定）

- 50 周年記念事業の開催
- 第 49 回東京ブロック大会調布大会への参加
- 第 49 回東京ブロック大会調布大会実行委員会の運営
- 調布市商工会青年部との青年経済人会議の実施および例会の開催

■最後に

委員長、副委員長とともに青年会議所歴が浅く、よく言えば発想が自由、悪く言えば経験不足という中で、良い面を積極的に活かし、委員会においては役職の垣根を超えたフラットな関係を築きたいと考えます。

委員会のメンバー自身が笑って楽しむその姿から、調布のまちと一緒に「福」を呼び込みましょう。